

2021年1月6日(水)  
神戸新聞分

### 携帯型の空気清浄機開発

#### 伊丹・NDE 独自技術で殺菌



NDEが開発した携帯型空気清浄機「WACI-α (ワックアルファ)」伊丹市北伊丹2

フィルターなどを製造するNDE(伊丹市)は、携帯タイプの空気清浄機を開発した。独自の金属酸化物質を抑え、きれいな空気を送り出す。主要部品は関西電力と共同で手掛けた。27号と軽量で、新型コロナウイルス感染症に対応する公的機関や医療・介護関係者の需要を見込む。

1996年設立のNDEは、除菌脱臭のフィルターやスプレーなどを手掛け、2020年3月期の売上高は約13億円。従業員はアルバイトを含め14人。

新製品「WACI-α(ワックアルファ)」は、高さ5.5センチ、幅最大3.5センチのコンパクトな本体に、光電極型フィルターとモーター、発光ダイオード(LED)照明を内蔵し、胸元に取り付けて使う。

市販の小型電源につながるLED照明が点灯。光が当たったフィルターはウイルスを無害化し、消毒などに使われる過酸化水素を発生させる。過酸化水素を含んだ微風を本体上部から送り出し、マスクや顔周辺のウイルスなどの増殖を抑える。過酸化水素は安全な水と酸素に分解され、保湿効果も期待できるといふ。

小型化やフィルターの性能向上や風を送る構造などに工夫を重ね、開発に約2年半費やした。

1個1万円ほどで、年5万個の販売を目指す。NDEの辻井太一社長(69)は「一般向けにも使ってもらえるのでは」と話す。販売はユニオン(大阪市) 06・6532・6273

(佐伯竜一)

兵庫県内の会社の話です。  
七転八起、ときには七転八倒  
するかもしれないが思いの  
ある限り、必ず起き上がり  
目にすると信じて頑張ろう